

第2章 札幌圏域の現状

- 1 平均寿命、高齢者人口、死亡数と死因
- 2 健康寿命
- 3 がん検診受診率、特定健康診査・特定保健指導実施率
- 4 健康状態の現状
- 5 札幌圏域健康づくり事業行動計画の重点課題と今後の方向性

1 平均寿命、高齢者人口、死亡数と死因

平均寿命*1は、医学の進歩、生活環境や生活習慣の改善などを背景に、年々伸びています。

平成27年の平均寿命は、北海道の平均と札幌圏域各市町村とほぼ同水準となっています。(表1)

札幌圏域の65歳以上高齢者人口は、平成29年1月1日現在、約61万人で、総人口に占める割合は、25.8%となっています。また、札幌圏域各市町村の割合は表2のとおりです。

札幌圏域の死亡者総数は21,463人となっており、死亡原因別に見ると第1位は悪性新生物で7,055人、第2位心疾患で2,830人、第3位肺炎で1,962人、第4位脳血管疾患で1,661人、第5位老衰で900人となっています。(表3)

また、札幌圏域の自殺死亡率は、全国・全道平均よりもやや低い傾向にあります。20～30代では死因の第一位が自殺であり、30歳代以下の自殺者は各年代とも全国に比べ高い傾向にあります。(表4、表5)

*1 平均寿命：0歳の平均余命 北海道値は北海道保健福祉部簡易生命表。札幌圏域各市町村値は、厚生労働省各市町村別生命表。

表1 平均寿命

市町村名	男性(歳)	女性(歳)
北海道	80.3	86.8
札幌市	80.7	87.2
江別市	81.7	87.1
千歳市	81.2	87.1
恵庭市	80.8	87.1
北広島市	81.0	88.0
石狩市	80.6	87.1
当別町	81.4	86.8
新篠津村	79.7	86.7

出典：市町村別生命表（平成27年）

表2 65歳以上高齢者人口(H29.1.1現在)

市町村名	人口(人)	割合(%)
北海道	1,587,834	29.7
札幌圏域	609,031	25.8
札幌市	494,625	25.5
江別市	33,756	28.4
千歳市	20,687	21.6
恵庭市	17,873	25.9
北広島市	17,439	29.6
石狩市	18,230	31.1
当別町	5,298	32.0
新篠津村	1,123	34.9

出典：北海道の高齢者人口の状況（市町村別）

表3 死亡数・死因

(札幌圏域)

死亡数	順位	死因	人数	割合(%)
21,463 (人)	1位	悪性新生物	7,055	32.9
	2位	心疾患	2,830	13.2
	3位	肺炎	1,962	9.1
	4位	脳血管疾患	1,661	7.7
	5位	老衰	900	4.2

出典：石狩地域保健情報年報（平成27年度実績）

表4 自殺率の推移

区 分	H24 年		H25 年		H26 年		H27 年		H28 年	
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率
札幌圏域	498 人	22.4	456 人	21.0	414 人	17.5	400 人	17.8	381 人	16.9
北海道	1,260 人	23.1	1,145 人	22.2	1,080 人	20.7	1,045 人	20.1	930 人	18.1
全国	26,433 人	21.0	26,063 人	20.7	24,417 人	19.5	23,152 人	18.5		

出典：厚生労働省 平成 29 年度版自殺対策白書

表5 自殺者の性・年齢別割合と自殺率（人口 10 万対）

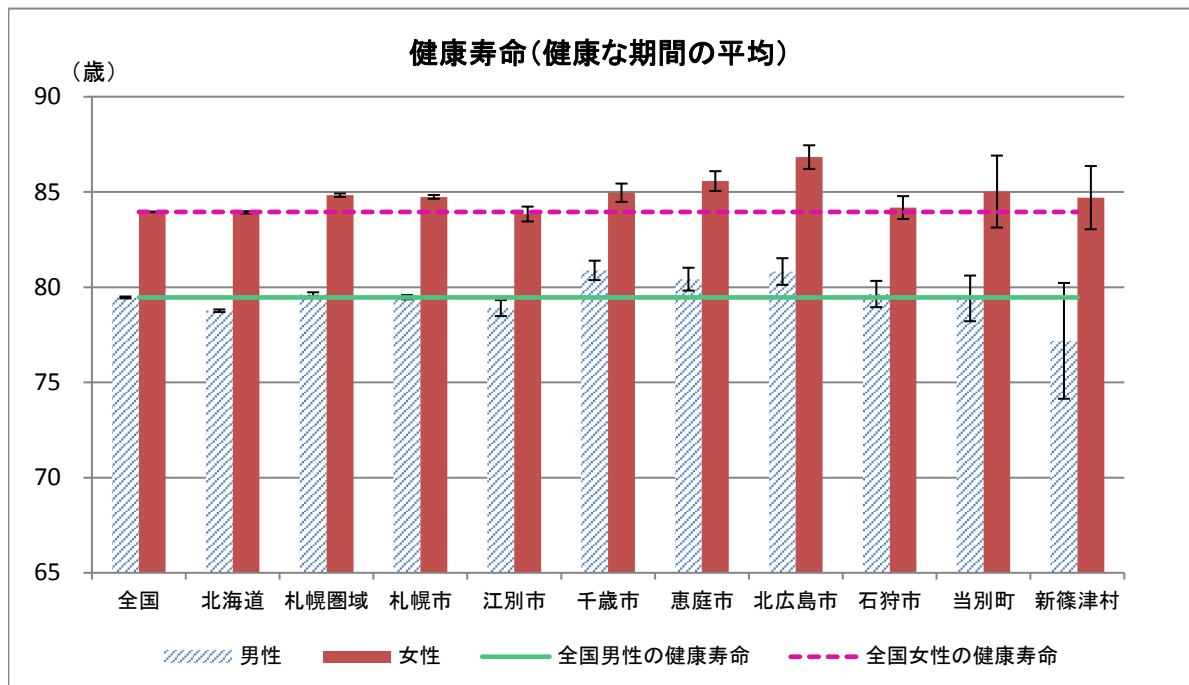
H24～28 合計		札幌圏域(割合)	全国(割合)	札幌圏域自殺率	全国自殺率
総数		100%	100%	19.4	19.6
男性		67.7%	68.9%	27.7	27.7
女性		32.3%	31.1%	11.9	11.9
男 性	20 歳未満	2.1%	1.5%	4.8	3.2
	20 歳代	9.3%	7.5%	33.5	27.7
	30 歳代	10.9%	9.5%	31.6	27.6
	40 歳代	13.0%	12.2%	35.4	33.1
	50 歳代	12.0%	12.1%	37.5	38.9
	60 歳代	10.4%	11.7%	29.0	33.0
	70 歳代	6.1%	8.6%	27.8	34.6
	80 歳以上	3.8%	5.4%	33.1	42.4
女 性	20 歳未満	0.9%	0.7%	2.1	1.6
	20 歳代	4.2%	2.8%	14.4	10.8
	30 歳代	4.3%	3.8%	11.7	11.4
	40 歳代	5.4%	4.6%	13.7	12.7
	50 歳代	4.6%	4.5%	13.1	14.4
	60 歳代	5.2%	5.4%	12.8	14.4
	70 歳代	4.5%	5.2%	15.7	17.4
	80 歳以上	3.3%	4.3%	15.4	17.7

出典：地域自殺実態プロフィール【2017】

2 健康寿命

本計画においては、健康寿命の延伸を目指していることから、介護保険の介護情報（要介護2～5の認定者数）と人口、死亡数を基礎情報として、「日常生活動作が自立している期間の平均」として札幌圏域の健康寿命を把握しました。

札幌圏域の健康寿命は、男性が79.63歳、女性が84.83歳で、男性・女性ともに全国よりも長くなっています。



	性別	平均余命			健康な期間の平均				不健康な期間の平均			
		(年)	95%信頼区間*1		(年)	95%信頼区間*1		(%) ^{*2}	(年)	95%信頼区間*1		(%) ^{*2}
全国	男	80.93	80.90	80.96	79.49	79.46	79.51	98.2	1.44	1.44	1.45	1.8
	女	87.13	87.10	87.16	83.95	83.92	83.97	96.4	3.18	3.18	3.19	3.6
北海道	男	80.16	80.09	80.23	78.76	78.69	78.83	98.3	1.40	1.39	1.41	1.7
	女	87.18	87.12	87.25	83.93	83.87	83.99	96.3	3.25	3.23	3.27	3.7
札幌圏域	男	81.13	81.02	81.24	79.63	79.53	79.73	98.2	1.50	1.47	1.52	1.8
	女	88.24	88.14	88.34	84.83	84.74	84.92	96.1	3.41	3.37	3.44	3.9
札幌市	男	80.98	80.86	81.10	79.47	79.36	79.58	98.1	1.51	1.48	1.54	1.9
	女	88.18	88.08	88.29	84.74	84.64	84.84	96.1	3.44	3.41	3.48	3.9
江別市	男	80.36	79.92	80.80	78.90	78.48	79.32	98.2	1.46	1.37	1.55	1.8
	女	87.09	86.67	87.50	83.84	83.45	84.23	96.3	3.24	3.11	3.38	3.7
千歳市	男	82.17	81.65	82.70	80.88	80.37	81.39	98.4	1.29	1.16	1.42	1.6
	女	87.99	87.48	88.50	84.96	84.47	85.44	96.5	3.04	2.85	3.23	3.5
恵庭市	男	81.69	81.07	82.31	80.42	79.82	81.02	98.5	1.26	1.13	1.39	1.5
	女	88.41	87.87	88.96	85.57	85.05	86.09	96.8	2.84	2.65	3.04	3.2
北広島市	男	82.27	81.55	82.99	80.82	80.12	81.52	98.2	1.45	1.30	1.60	1.8
	女	90.00	89.35	90.65	86.83	86.21	87.45	96.5	3.17	2.95	3.39	3.5
石狩市	男	80.92	80.21	81.63	79.64	78.96	80.33	98.4	1.28	1.15	1.41	1.6
	女	87.31	86.67	87.95	84.18	83.58	84.78	96.4	3.13	2.94	3.32	3.6
当別町	男	80.65	79.41	81.89	79.41	78.21	80.61	98.5	1.24	1.01	1.47	1.5
	女	88.14	86.18	90.11	85.02	83.13	86.91	96.5	3.13	2.77	3.48	3.5
新篠津村	男	78.41	75.24	81.57	77.18	74.15	80.22	98.4	1.22	0.81	1.64	1.6
	女	86.67	84.92	88.43	84.70	83.05	86.36	97.7	1.97	1.49	2.45	2.3

(厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」)

※全国・北海道・各市町村とも介護保険データをもとに算出しています。

※全国及び北海道の数値は、各市町村との比較のための参考としてください。

*1 算定した値は推定値であり、真の値は95%の信頼度で信頼区間に含まれると見込まれる。

人口規模が小さくなると95%信頼区間の幅は広がる。

*2 平均余命に対する割合

3 がん検診受診率、特定健康診査・特定保健指導実施率

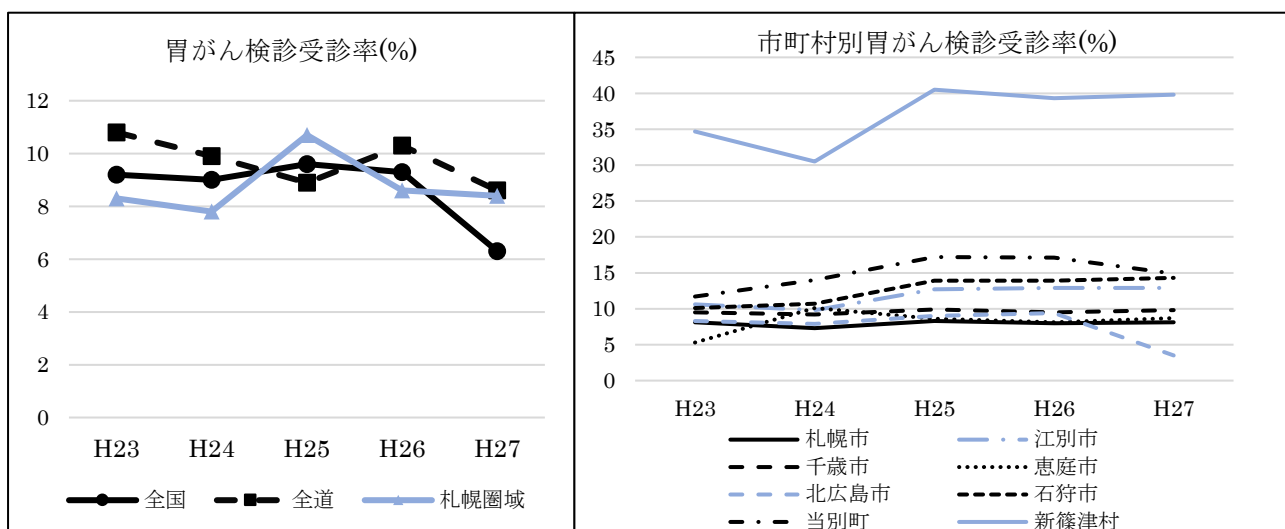
(1) がん検診受診率

1) 胃がん

札幌圏域の胃がん検診の受診率は、平成25年度に上昇したほかは、ほぼ横ばいで推移しています。

○ 受診率の推移 (%)

区分	H23	H24	H25	H26	H27
全国	9.2	9.0	9.6	9.3	6.3
全道	10.8	9.9	8.9	10.3	8.6
札幌圏域	8.3	7.8	10.7	8.6	8.4
札幌市	8.1	7.3	8.3	8.0	8.1
江別市	10.6	9.8	12.7	12.9	12.9
千歳市	9.5	9.2	9.9	9.5	9.8
恵庭市	5.3	10.1	8.6	8.1	8.7
北広島市	8.3	7.9	9.0	9.4	3.5
石狩市	10.1	10.7	13.9	13.9	14.3
当別町	11.7	14.0	17.2	17.1	14.9
新篠津村	34.7	30.5	40.5	39.3	39.8



2) 大腸がん

札幌圏域の大腸がん検診の受診率は、やや増加傾向で推移しています。

○ 受診率の推移 (%)

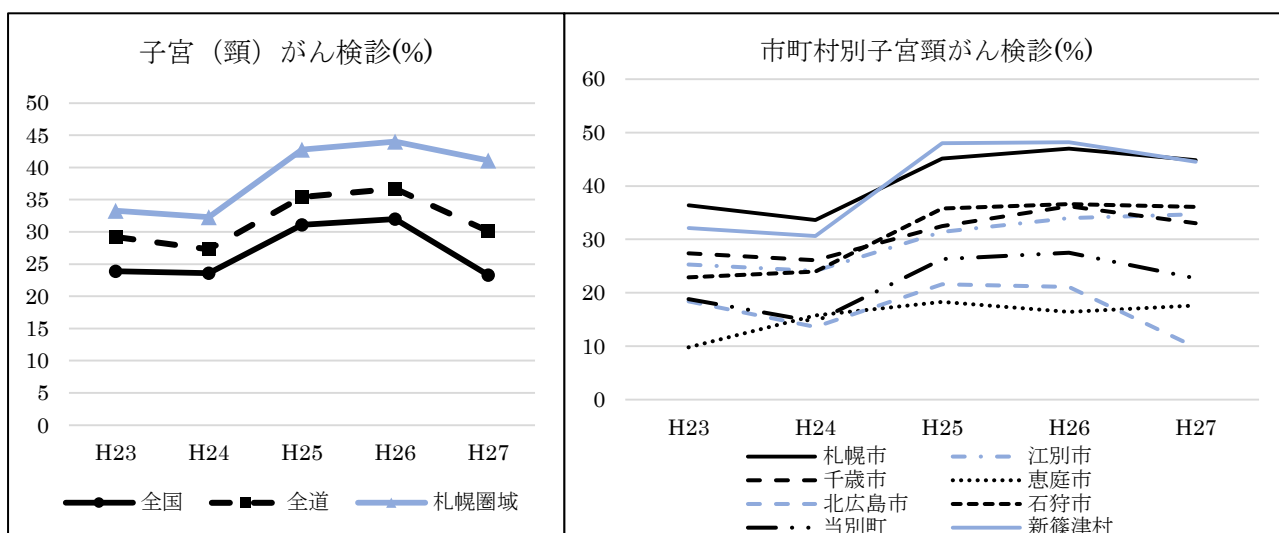
区分	H23	H24	H25	H26	H27
全国	18.0	18.7	19.0	19.2	13.8
全道	15.9	15.0	17.0	16.7	14.7
札幌圏域	14.2	13.8	16.6	16.4	16.8
札幌市	14.6	13.7	16.2	16.0	17.0
江別市	16.4	16.0	21.4	22.9	23.5
千歳市	14.8	14.7	18.5	17.4	18.7
恵庭市	6.4	11.7	13.0	12.4	14.0
北広島市	9.1	12.3	13.4	10.4	6.4
石狩市	15.5	14.0	20.0	20.6	21.0
当別町	18.2	18.4	23.9	25.1	22.0
新篠津村	31.0	28.7	36.8	37.5	39.5

4) 子宮頸がん

札幌圏域の子宮頸がん検診の受診率は、平成25年度に急激に増加し、その後は横ばいで推移しています。

○ 受診率の推移 (%)

区分	H23	H24	H25	H26	H27
全国	23.9	23.6	31.1	32.0	23.3
全道	29.2	27.3	35.4	36.7	30.1
札幌圏域	33.3	32.3	42.8	44.0	41.1
札幌市	36.4	33.6	45.1	47.0	44.8
江別市	25.3	24.1	31.4	34.0	34.7
千歳市	27.4	26.1	32.5	36.2	33.0
恵庭市	9.8	15.8	18.3	16.4	17.6
北広島市	18.4	13.6	21.6	21.1	9.8
石狩市	22.9	24.0	35.8	36.6	36.1
当別町	18.8	14.6	26.3	27.5	22.7
新篠津村	32.1	30.6	48.0	48.2	44.5

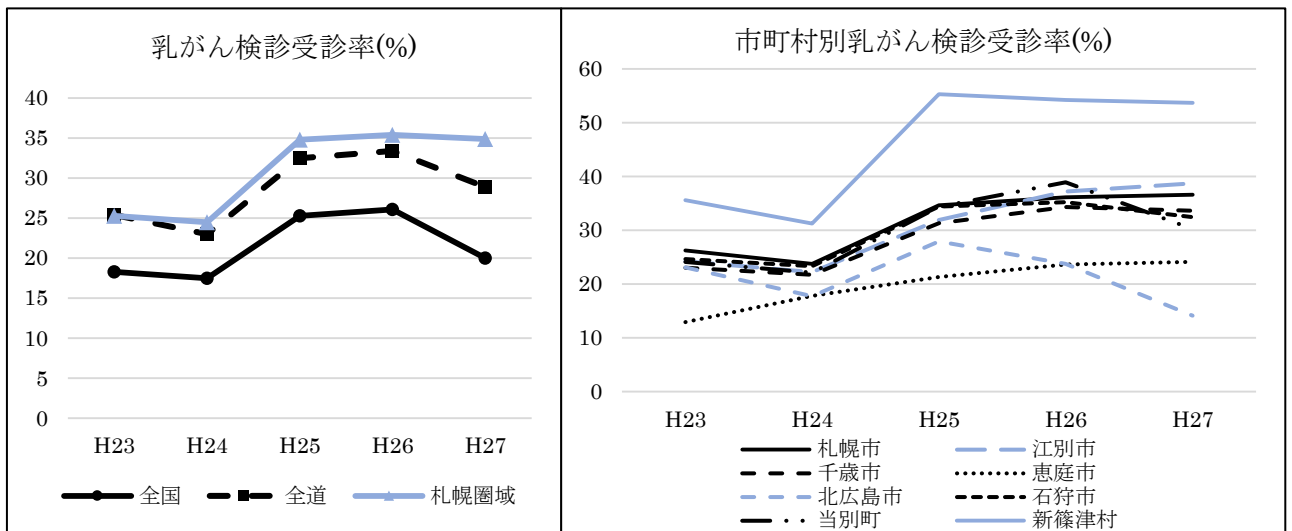


5) 乳がん

札幌圏域の乳がん検診の受診率は、平成24年度から平成25年度にかけて急激に増加し、その後は横ばいで推移しています。

○ 受診率の推移 (%)

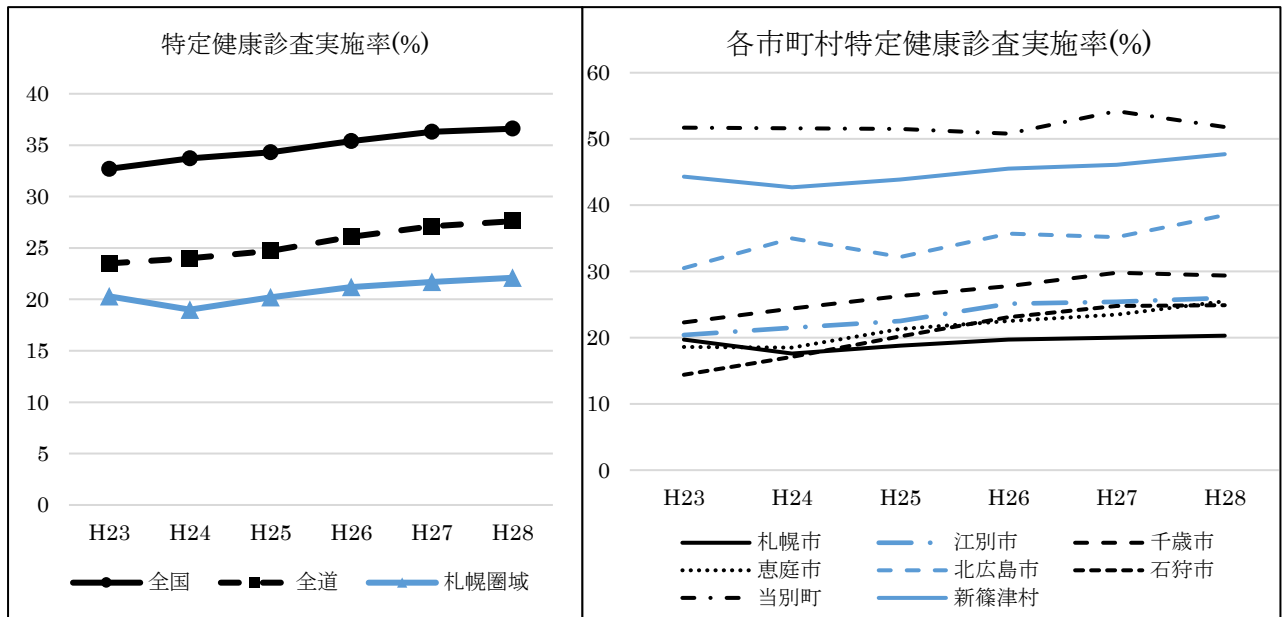
区分	H23	H24	H25	H26	H27
全国	18.3	17.5	25.3	26.1	20.0
全道	25.4	23.0	32.5	33.4	28.9
札幌圏域	25.3	24.5	34.8	35.4	34.9
札幌市	26.2	23.7	34.6	36.1	36.6
江別市	24.2	22.2	31.9	37.2	38.7
千歳市	23.0	21.7	31.3	34.3	33.6
恵庭市	12.9	17.8	21.3	23.6	24.1
北広島市	23.1	17.7	27.9	23.7	14.1
石狩市	24.6	23.3	34.4	35.2	32.4
当別町	24.1	22.1	34.3	38.9	30.2
新篠津村	35.6	31.2	55.3	54.2	53.7



各項目データ出典：「平成23～27年度地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）」

(2) 特定健康診査実施率

特定健康診査実施率は各市町村ともに増加傾向にあります。全国や全道と比較すると、札幌圏域の実施率は大きく下回っています。また、平成26年度から平成28年度の男女別の特定健康診査実施率をみると、いずれも女性の実施率が高い傾向にあります。

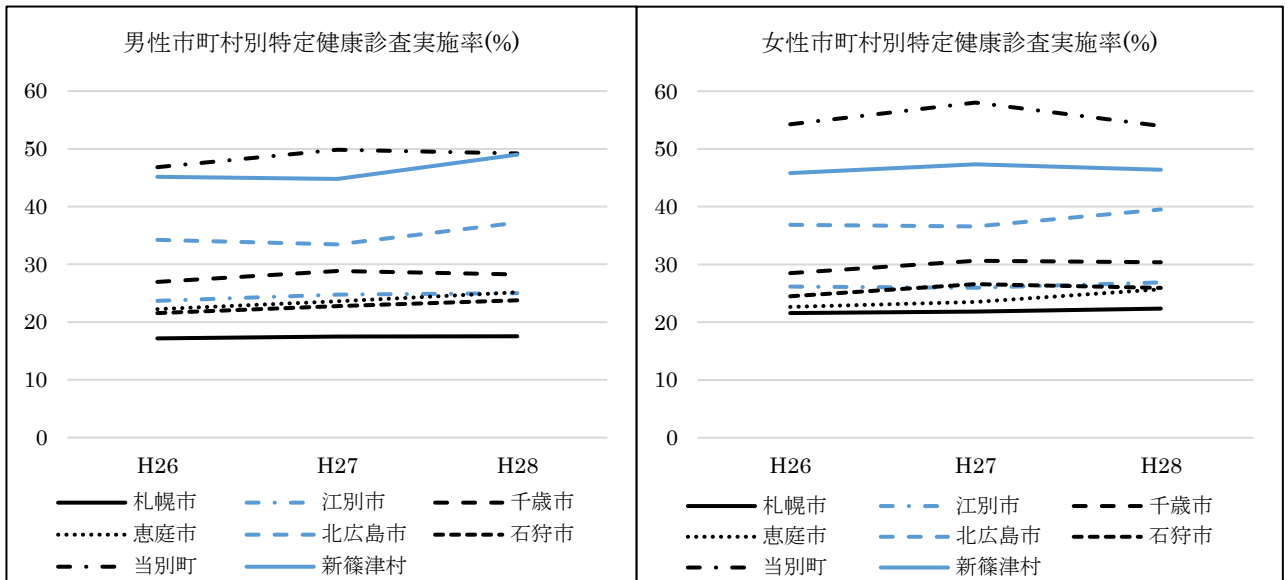


○ 特定健康診査実施率 (%) (H23~H28)

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国	32.7	33.7	34.3	35.4	36.3	36.6
全道	23.5	24.0	24.7	26.1	27.1	27.6
札幌圏域	20.3	19.0	20.2	21.2	21.7	22.1
札幌市	19.7	17.6	18.8	19.7	20.0	20.3
江別市	20.4	21.5	22.5	25.1	25.4	26.1
千歳市	22.3	24.4	26.3	27.8	29.8	29.4
恵庭市	18.6	18.5	21.3	22.5	23.5	25.5
北広島市	30.5	35.0	32.2	35.7	35.2	38.5
石狩市	14.4	17.1	20.2	23.1	24.8	24.9
当別町	51.7	51.6	51.5	50.8	54.2	51.8
新篠津村	44.3	42.7	43.9	45.5	46.1	47.7

○ 男女別特定健康診査実施率 (%) (H26~H28)

区分	H26			H27			H28		
	総計	男性	女性	総計	男性	女性	総計	男性	女性
全国	35.4	31.4	38.9	36.3	32.4	39.8	36.6	32.7	40.1
全道	26.1	23.9	27.8	27.1	25.0	28.8	27.6	25.5	29.4
札幌圏域	21.2	19.0	23.0	21.7	19.5	23.4	22.1	19.8	23.9
札幌市	19.7	17.2	21.6	20.0	17.5	21.9	20.3	17.5	22.4
江別市	25.1	23.7	26.2	25.4	24.8	26.0	26.0	25.0	26.9
千歳市	27.8	27.0	28.5	29.8	28.8	30.6	29.4	28.3	30.4
恵庭市	22.5	22.2	22.7	23.5	23.6	23.5	25.5	25.2	25.7
北広島市	35.7	34.2	36.9	35.2	33.5	36.6	38.5	37.2	39.5
石狩市	23.1	21.6	24.5	24.8	22.8	26.6	24.9	23.8	25.9
当別町	50.8	46.8	54.3	54.2	49.8	58.0	51.8	49.2	54.0
新篠津村	45.5	45.1	45.8	46.1	44.8	47.3	47.7	49.0	46.4

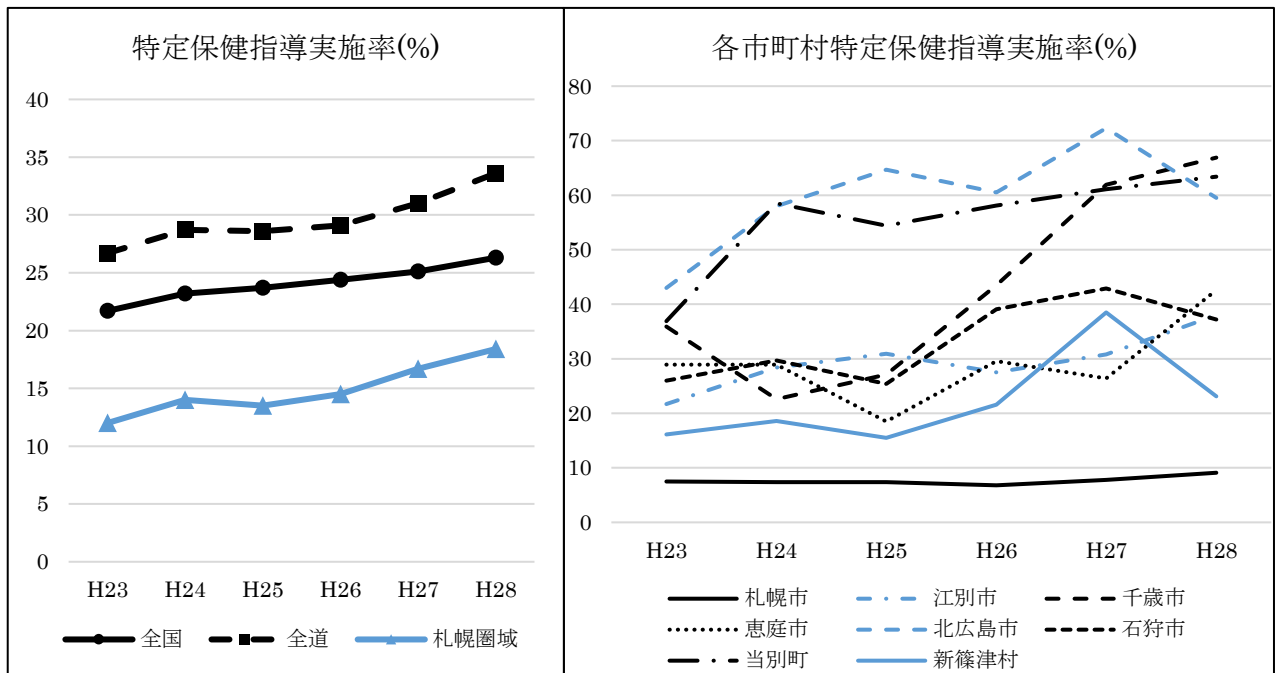


出典：(いずれも法定報告速報値)

公益財団法人国民健康保険中央会「市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況概況報告書（H23～H28）」
 北海道国民健康保険団体連合会「市町村国保における特定健診等結果状況報告書（H23～H28）」

(3) 特定保健指導実施率

特定保健指導実施率は各市町村とも増加傾向にありますが、全国や全道と比較すると、札幌圏域の実施率は大きく下回っています。また、平成26年度から平成28年度の男女別の特定保健指導実施率をみると、特定健康診査同様、いずれの年度も女性の実施率が高い傾向にあります。

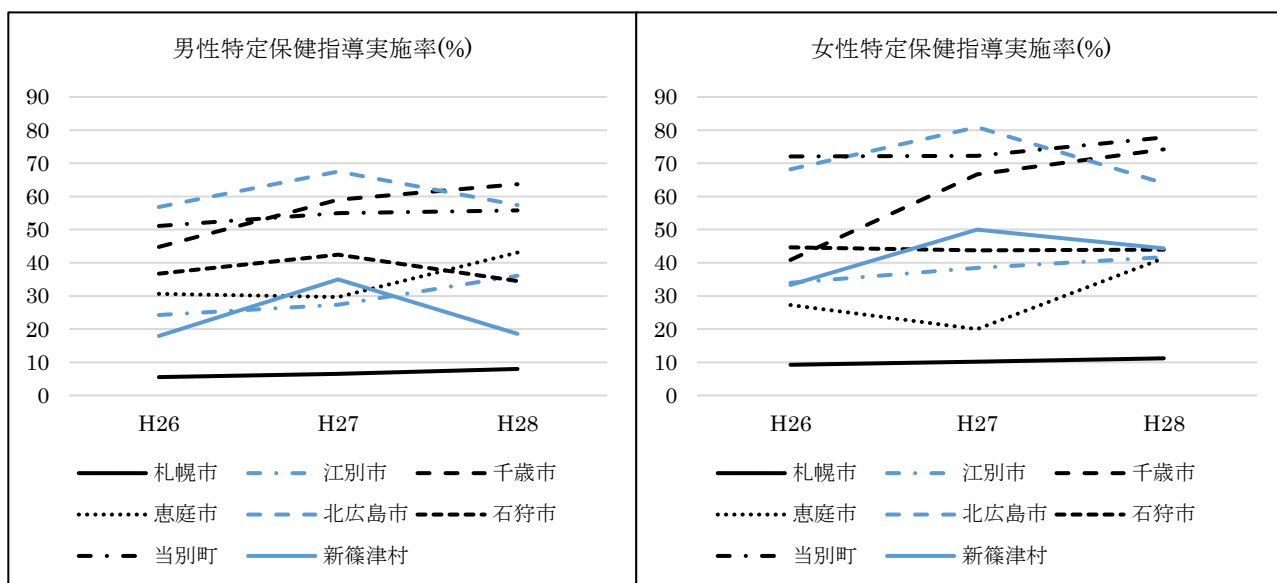


○ 特定保健指導実施率（％）（H23～H28）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国	21.7	23.2	23.7	24.4	25.1	26.3
全道	26.7	28.7	28.6	29.1	31.0	33.6
札幌圏域	12.0	14.0	13.5	14.5	16.7	18.4
札幌市	7.5	7.4	7.4	6.8	7.8	9.1
江別市	21.7	28.4	30.9	27.5	30.8	38.0
千歳市	35.9	22.6	27.1	43.5	61.9	66.9
恵庭市	28.9	28.9	18.5	29.6	26.4	42.6
北広島市	43.0	58.0	64.7	60.5	72.3	59.5
石狩市	26.0	29.7	25.4	39.1	42.9	37.2
当別町	36.9	58.5	54.4	58.1	61.1	63.4
新篠津村	16.1	18.6	15.5	21.6	38.5	23.1

○ 男女別特定保健指導実施率（％）（H26～H28）

区分	H26			H27			H28		
	総計	男性	女性	総計	男性	女性	総計	男性	女性
全国	24.4	22.5	28.0	25.1	23.3	28.7	26.3	24.4	30.0
全道	29.1	27.1	33.1	31.0	29.0	34.6	33.6	32.0	36.5
札幌圏域	14.5	13.0	17.5	16.7	15.1	20.0	18.4	17.2	20.8
札幌市	6.8	5.5	9.3	7.8	6.5	10.2	9.1	8.0	11.2
江別市	27.5	24.3	34.0	30.8	27.3	38.5	38.0	36.1	41.7
千歳市	43.5	44.8	40.9	61.9	59.0	66.7	66.9	63.7	74.2
恵庭市	29.6	30.7	27.3	26.4	29.7	20.0	42.6	43.1	41.4
北広島市	60.5	56.8	68.2	72.3	67.5	80.9	59.5	57.4	64.0
石狩市	39.1	36.7	44.7	42.9	42.4	43.8	37.2	34.5	44.0
当別町	58.1	51.1	72.1	61.1	55.0	72.2	63.4	55.8	77.8
新篠津村	21.6	17.9	33.3	38.5	35.0	50.0	23.1	18.6	44.4



出典：(いずれも法定報告速報値)

公益財団法人国民健康保険中央会「市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況概況報告書（H23～H28）」
 北海道国民健康保険団体連合会「市町村国保における特定健診等結果状況報告書（H23～H28）」

4 健康状態の現状

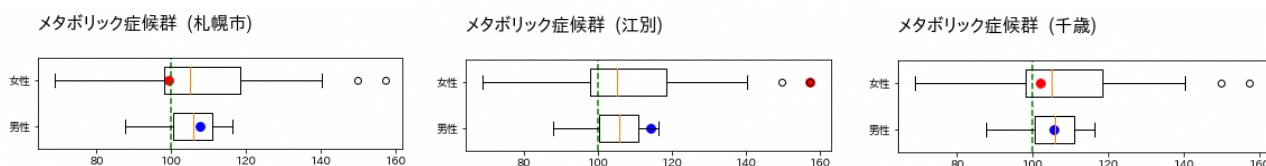
北海道健康課題の見える化事業の報告書から、平成 26 年度市町村国民健康保険及び全国健康保険協会北海道支部の 40 歳から 74 歳までを対象とした、特定健康診査の結果と問診票のデータから集計した 11 の項目の結果を参考に、札幌圏域の健康上の課題を把握しました。

(1) メタボリックシンドロームの状況 ※図の見方については、P19 を参照してください。

メタボリックシンドロームの該当者の割合は、全国と比べて、男性は、札幌市・江別・千歳保健所管内とも高くなっています。

また、女性は、札幌市は全国よりもやや低く、江別・千歳保健所管内は、全国よりも高くなっています。

特に江別保健所管内は、男性・女性とも全道の上位 25%に入っており、高い地域といえます。

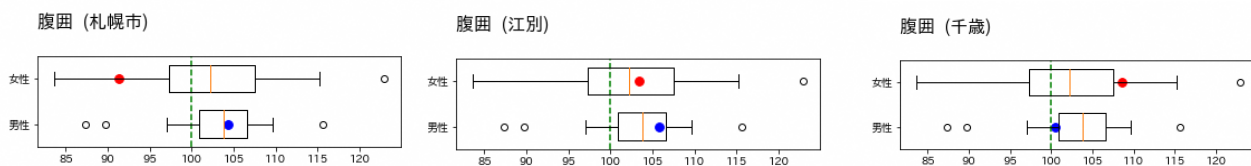


(2) 腹囲の状況

腹囲異常者の割合は、全国と比べて、男性は、札幌市・江別・千歳保健所管内とも高くなっています。

また、女性は、札幌市は全国よりも低く、江別・千歳保健所管内は、全国よりも高くなっています。

特に札幌市の女性は、全道の下位 25%に、千歳保健所管内の女性は、全道の上位 25%に入っています。

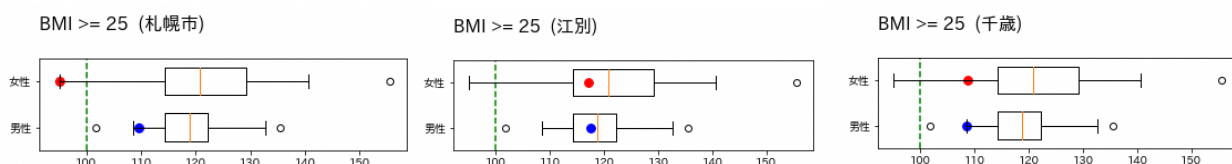


(3) 肥満者の状況

肥満者の割合は、全国と比べて、男性は、札幌市・江別・千歳保健所管内とも、全国よりも高くなっています。

また、女性は、札幌市は全国よりも低く、江別・千歳保健所管内は、全国よりも高くなっています。

特に札幌市・千歳保健所管内は、男性・女性とも全道の下位 25%に入っており、低い地域といえます。

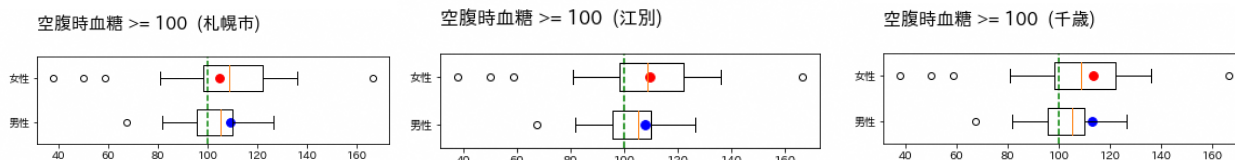


(4) 糖尿病予備群の状況

① 空腹時血糖異常者の割合

空腹時血糖異常者の割合は、全国と比べて、男性・女性とも、札幌市・江別・千歳保健所管内で高くなっています。

また、千歳保健所管内の男性は、全道の上位 25%に入っています。

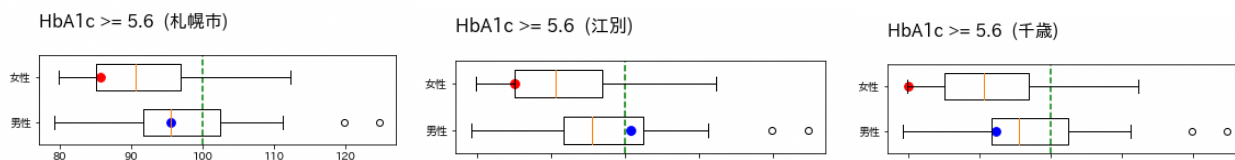


② HbA1c 異常者の割合

HbA1c 異常者の割合は、全国と比べて、男性は、札幌市・千歳保健所管内で、低くなっており、江別保健所管内で高くなっています。

また、女性は、札幌市・江別・千歳保健所管内で、全国よりも低くなっています。

特に、千歳保健所管内の女性は、全道の下位 25%に入っています。



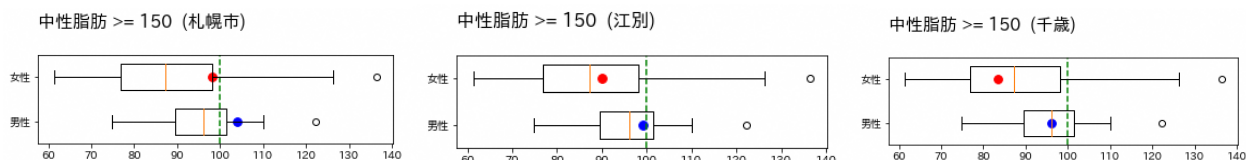
(5) 脂質異常症予備軍の状況

① 中性脂肪異常者の割合

中性脂肪異常者の割合は、全国と比べると、男性は、札幌市保健所管内で高くなっており、江別・千歳保健所管内は、低くなっています。

また、女性は、札幌市・江別・千歳保健所管内とも、全国よりも低くなっています。

特に札幌市の男性は、全道の上位 25%となっています。

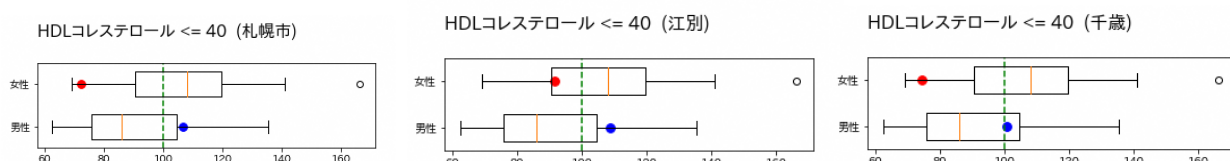


② HDL 異常者の割合

HDL 異常者の割合は、全国と比べると、男性は、札幌市・江別・千歳保健所管内とも高くなっています。

また、女性は、札幌市・江別・千歳保健所管内とも、全国よりも低くなっています。

特に札幌市・江別保健所管内の男性は、全道の上位 25%に入っており、札幌市・千歳保健所管内の女性は、全道の下位 25%に入っています

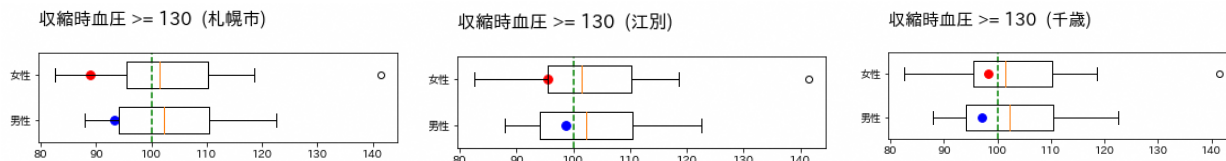


(6) 高血圧症予備軍の状況

① 収縮期血圧異常者の割合

収縮期血圧異常者の割合は、全国と比べると、男性・女性とも、札幌市・江別・千歳保健所管内で低くなっています。

特に札幌市は、男性・女性とも、全道の下位 25%に入っており、低い地域といえます。

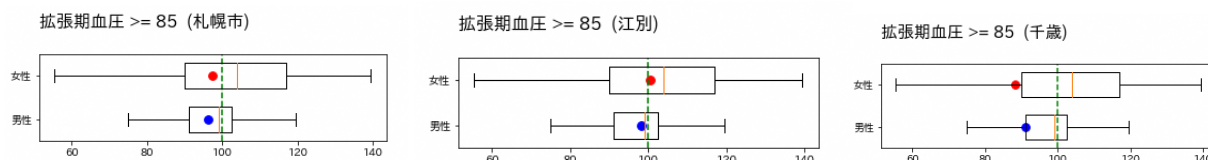


② 拡張期血圧異常者の割合

拡張期血圧異常者の割合は、全国と比べると、男性は、札幌市・江別・千歳保健所管内とも低くなっています。

また、女性は、札幌市・千歳保健所管内は、全国よりも低く、江別保健所管内は、全国よりも高くなっています。

特に千歳保健所管内の女性は、全道の下位 25%に入っています。

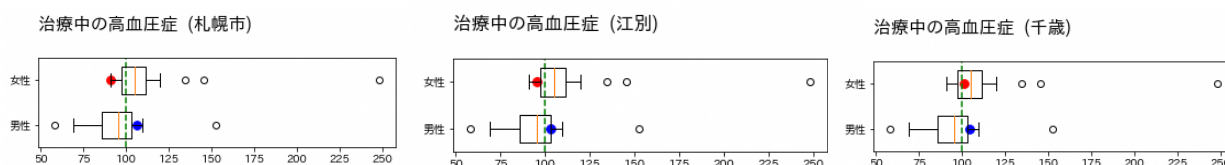


③ 降圧剤服用者の割合

降圧剤を服用中の者の割合は、全国と比べると、男性は、札幌市・江別・千歳保健所管内とも高くなっています。

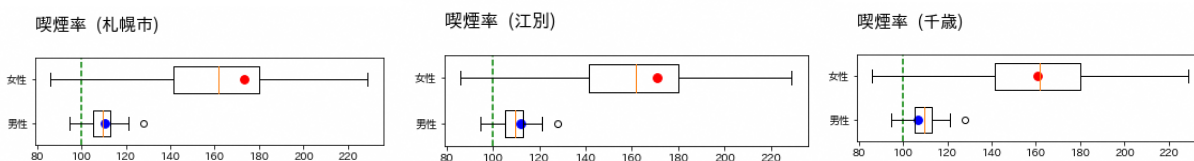
また、女性は、札幌市・江別保健所管内は、全国よりも低く、千歳保健所管内は、全国よりも高くなっています。

特に札幌市・千歳保健所管内の男性は、全道の上位 25%に入っており、札幌市の女性は、全道の下位 25%に入っています。



(7) 喫煙者の状況

喫煙者の割合は、全国と比べると、男性・女性とも、札幌市・江別・千歳保健所管内で高くなっています。



【参考】

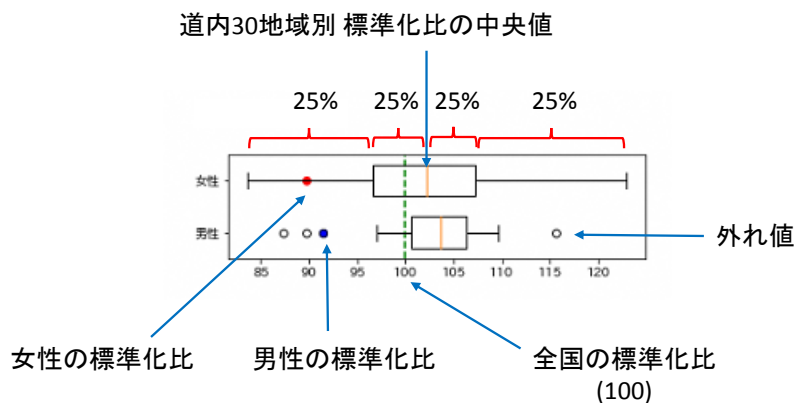
○ 判定基準と異常者の割合の呼称

各項目の名称等については、下表のような異常の判定基準を用いて算出しています。

異常の判定基準	異常者の割合の呼称
腹囲 \geq 85cm（男）、腹囲 \geq 90cm（女）	腹囲異常者割合
BMI \geq 25	肥満者割合
空腹時血糖 \geq 100mg/dl	空腹時血糖異常者割合
HbA1c \geq 5.6%	HbA1c 異常者割合
中性脂肪 \geq 150mg/dl	中性脂肪異常者割合
HDL コレステロール $<$ 40mg/dl	HDL 異常者割合
収縮期血圧 \geq 130mmHg	収縮期血圧異常者割合
拡張期血圧 \geq 85mmHg	拡張期血圧異常者割合
降圧剤を服用中の者	降圧剤服用者割合
喫煙者	喫煙者割合
メタボリック症候群の該当	メタボリック症候群割合

○ 箱ひげ図の読み方

【箱ひげ図の読み方について】



読み方の例 腹囲(上川)

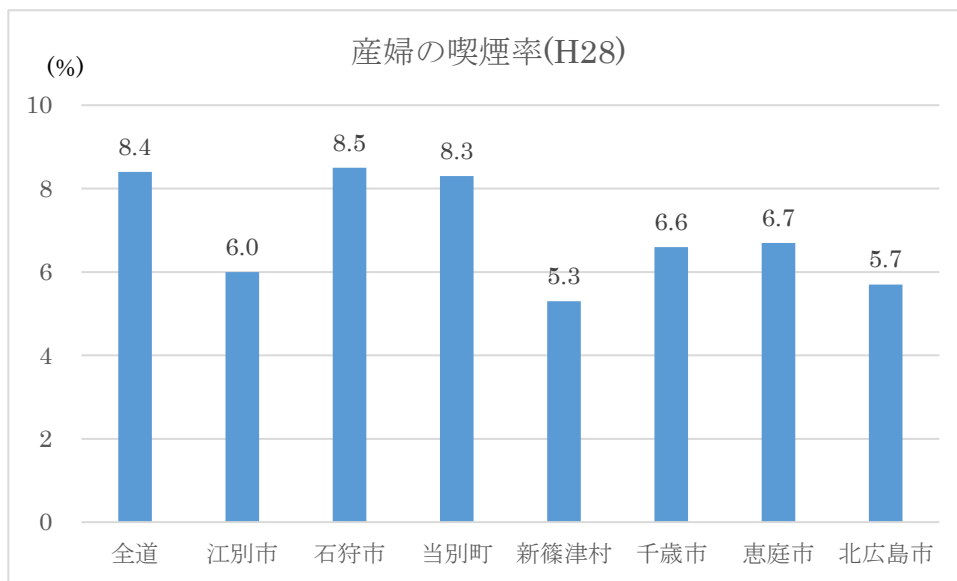
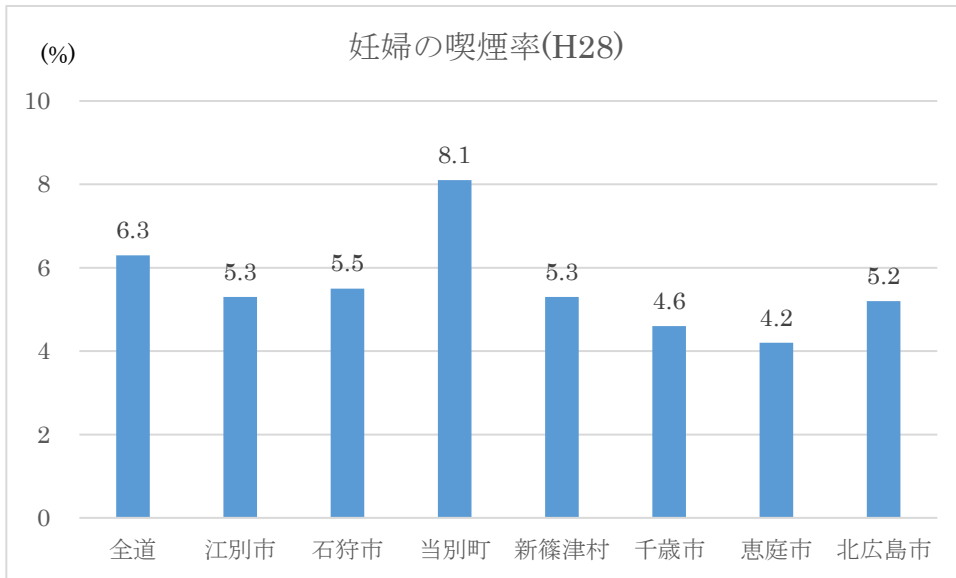
男女ともに道内標準化比の中央値は、全国の標準化比100よりも大きい。

女性は、道内地域別の標準化比が広く分布しており、ウエストの地域差が大きいことが推測され、道内男性で75%を超える地域が100を超えていた。

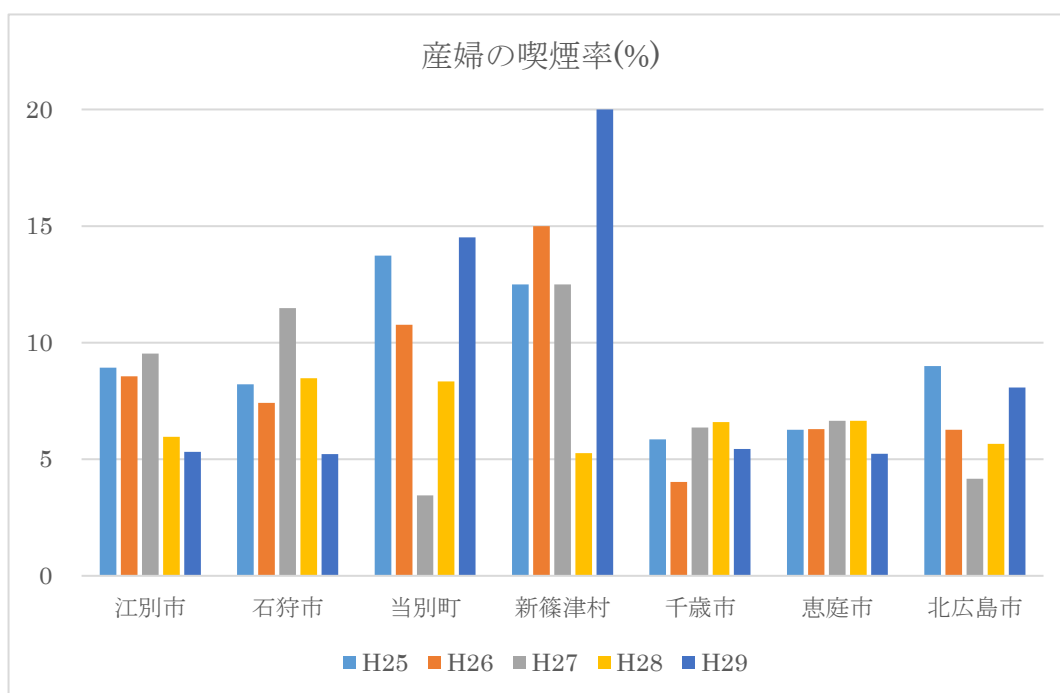
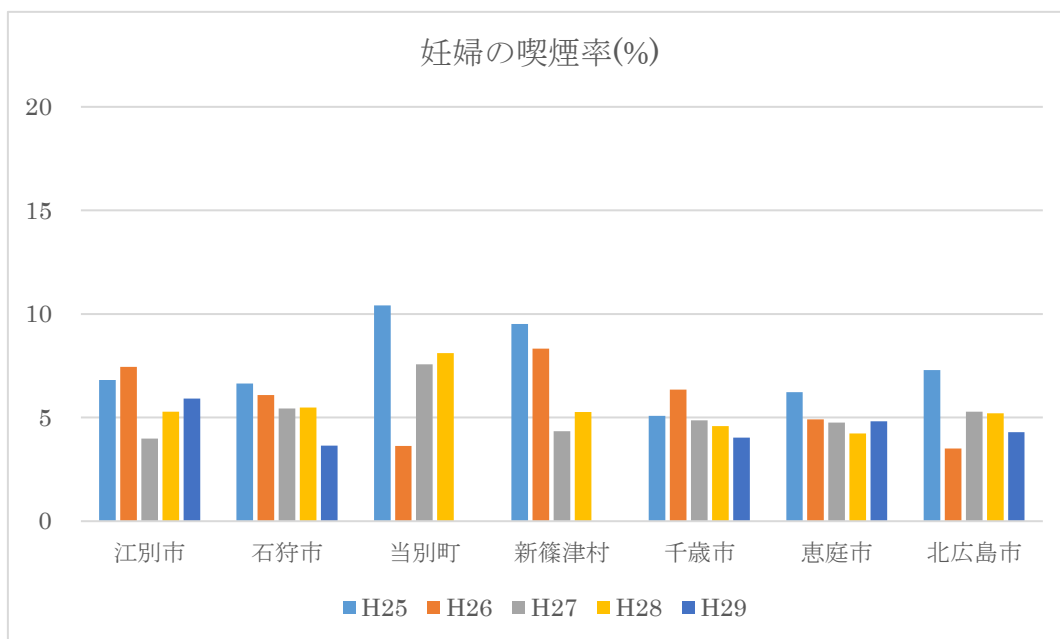
上川保健所管内の標準化比は、男女ともに全国を下回っている者の割合が多く、道内の下位25%に入っている。道内全域では、男性で肥満者が全国を大きく上回っている。

(8) 妊産婦の喫煙率

妊娠中及び育児中（産婦）の喫煙率については、妊娠中は減少傾向にあるものの育児中に増加する傾向にあります。



※札幌市の喫煙率については、「札幌市健康づくり基本計画〔健康さっぽろ21（第二次）〕」を参照してください。



○ 妊婦の喫煙率 (%)

○ 産婦の喫煙率 (%)

区分	H25	H26	H27	H28	H29	区分	H25	H26	H27	H28	H29
江別市	6.8	7.5	4.0	5.3	5.9	江別市	8.9	8.6	9.5	6.0	5.3
石狩市	6.6	6.1	5.4	5.5	3.6	石狩市	8.2	7.4	11.5	8.5	5.2
当別町	10.4	3.6	7.6	8.1	0.0	当別町	13.7	10.8	3.4	8.3	14.5
新篠津村	9.5	8.3	4.3	5.3	0.0	新篠津村	12.5	15.0	12.5	5.3	20.0
千歳市	5.1	6.3	4.9	4.6	4.0	千歳市	5.8	4.0	6.4	6.6	5.4
恵庭市	6.2	4.9	4.8	4.2	4.8	恵庭市	6.3	6.3	6.7	6.7	5.2
北広島市	7.3	3.5	5.3	5.2	4.3	北広島市	9.0	6.3	4.2	5.7	8.1

出典：北海道母子保健報告システム

5 札幌圏域健康づくり事業行動計画の重点課題と今後の方向性

《重点課題》

(1) 喫煙者の減少

- 肺がんをはじめとする多くのがんや虚血性心疾患、脳卒中などの循環器疾患、糖尿病や COPD（慢性閉塞性肺疾患）など多くの疾患の危険因子である喫煙について、北海道健康課題の見える化事業の結果では、男女とも喫煙者の割合が全国よりも高いことから、喫煙率の減少や受動喫煙のない環境づくりの取組が重要となります。
- また、女性の喫煙者の割合が、全国・全道平均よりも特に高いため、健康への影響が大きい未成年者*¹や妊産婦、女性に対する禁煙対策の強化が必要です。
- 望まない受動喫煙をなくすため、施設内禁煙等の環境づくりを推進し、受動喫煙防止対策の強化を図る必要があります。

*¹ 未成年者：20歳未満の者

(2) がん検診受診率の向上

- がん検診については、市町村や職域保健で実施していますが、各種がん検診のうち、肺がん検診の受診率が全国、全道よりも低いことから、がん検診受診促進のための普及啓発活動や検診受診体制について、関係機関が連携し、より一層、取り組んでいくことが必要です。

(3) メタボリックシンドローム該当者の割合の減少

- メタボリックシンドローム該当者の割合について、北海道健康課題の見える化事業の結果では、男性は全国よりも高く、特に江別保健所管内は、男女とも全国・全道平均よりも高いことから、若い世代からの生活習慣病の発症予防や重症化予防を図る必要があります。
- 特に、働き盛り世代の肥満やメタボリックシンドローム該当者が多いことから、引き続き、地域保健と職域保健が連携した取組が重要になります。
- また、特定健康診査・特定保健指導の実施率が、全国・全道よりも低いことから、受診しやすい体制整備や受診勧奨の促進など実施率の向上に向けた取組が必要です。

(4) 自殺死亡率の減少

- 当圏域の自殺死亡率は、全国・全道平均よりやや低い傾向にありますが、30歳代以下の自殺者は各年代とも全国に比べ、自殺割合、自殺死亡率ともに高い傾向にあり、大学等と連携した若者の自殺対策の充実に向けた取組が必要です。
- 関係機関等との会議の開催等の取り組みにより、自殺予防に係る情報交換、連携を強化していく必要があります。
- 自殺者数や自殺死亡率の減少に向けて、市町村自殺対策行動計画を策定し、地域の特性に応じた対策を進めることが重要になります。

《今後の方向性》

行動計画の進行管理と評価

○ 平成25年度から推進してきた札幌圏域健康づくり事業行動計画については、各市町村及び関係機関において、各領域で取組が実施されておりました。特に「がんの早期発見を促すため、がん検診受診促進の普及啓発」、「妊産婦に対するたばこの健康被害の普及啓発の推進」や「保育所・学校等におけるフッ化物洗口の推進」に取り組む機関が増えていました。

また、各機関における重点的・特徴的・新規の取組事業については、「休養」や「飲酒」の領域で取組が少ない状況でした。北海道健康増進計画の中間評価においては、睡眠による休養が十分とれていない若い世代の増加や生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている女性が増加傾向にあることから、継続した取組が必要です。

○ 本行動計画を推進するため、毎年度圏域で行われた健康づくり事業の取組状況を調査し、実態を把握していくとともに、その実績のモニタリングより見えてくる新たな課題や、重点的な取組を、各市町村や関係機関・団体等と情報を共有しつつ、圏域全体で取組を推進していきます。

○ また、重点課題に対する評価については、禁煙・分煙登録施設数、がん検診の受診率、特定健康診査・特定保健指導の実施率及び自殺割合や自殺率、ゲートキーパー研修実施市町村数を毎年把握し、その推移や傾向を確認していきます。